

VIVIO VIVIO VIVIO

SUBARU

SIMPLE RICH

VIVIO

素敵な女性たち

VIVIOは、素敵な女性を応援します。

Vol.7

みんなの笑顔に出会いたくて



クラウン(道化師)  
ハムチ&ロネ(オープン・セサミ)

はじめはおっかなびっくりだった観客が、握手を強く返してくれ

たとき、心から笑顔を見せてくれたとき、彼女たちの最も幸せな瞬間。いまの日本って、なんだかきずきすしてますよね。朝から晩まで働いて家族との会話がなのお父さんとか、連日の塾通いでコミュニケーション障害に陥っている子供たちとか。ロネちゃん。そういう人たちって、表情がないんですよ。よほどつまらない生活を送ってるのかなあでもそんな彼

ふたりとも、もともとは役者さん。勉強のために入ったクラウンの世界が、いつの間にか本業に。独立後は、衣装の製作、脚本から営業まで、すべて自分たちでこなす。昨年10月、モスクワ国際クラウンコンベンションに、史上初の日本人クラウンとして参加し、特別賞を獲得した。

「ク」が、素直に笑ってくれたとき、ほんとううれしいですね(ハムチ)  
クラウンの使命は日常生活に疲れた人の、心の特効薬になること、という。特に日本では、その必要性を強く感じている。自分の感情を抑えて生活する場面が、日本ではあまりにも多いから。  
実は彼女たちも、そんな日本人のひとつだった。ふたりの世界を変えたのは、昨年10月のロシアでの公演。「ロシアの人って、芸術が生活に密着してるんです。生活レベルはかなり低いんですけど、バレエやオペラはほとんど見ようとします。ごく普通の人々が芸術の楽しみ方を知っているんですよ」



「逆に、反応がはつきりしているから怖いんですよ。おもしろいときは笑ってくれるけど、つまらないと帰っちゃう。お金払って来てるのにね」そして演じる側も、自分の気持ちをストレートに表す。客の反応に左右されているようではダメだそう。  
「生」活レベルの全く違う国で演じてみて、いろいろなことを学んだ。特にハムチは帰国後、変わったという。「ロネに言わせると、いままでの私は人の言うことをハイハイして聞いていた。いい子ちゃんだった。でも自分の意見を言ってもいいときがあるんじゃないか、って今は思っています」オープン・セサミは日本から初めて行ったクラウン。モスクワでは有名な人なんですと胸を張る。日本にも早くクラウンが浸透するといいな、と声揃える。その口火を切るのはハムチとロネだ。  
企画・制作/産経新聞社営業局  
写真/橋本篤生

老びきび、のびのび、新登場。  
ヴィヴィオ



PHOTO: 3Fアサダー&X ランチャー+3F+ナリシ

スバルのことならフリーダイヤル0120-052215